

Casting Our Eyes  
on the Future

視線はまっすぐ未来へ

株式会社 **ア-レスティ**

証券コード：5852

第**98**期 期末  
株主通信

2018年4月1日▶2019年3月31日





## 株主の皆様へ

### 中期経営計画と持続的な成長のための取り組みについて

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
当社グループの現状と今後の展望についてお答えします。  
なお、第98期の業績については3ページ以降をご覧ください。  
今後とも、皆様のご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

2019年6月

代表取締役社長

高橋 新

#### Q1 「1618中期経営計画」の振り返りに ついてお聞かせください。

当社の10年ビジョン「信頼を究めよう 2025」に向け、2016年度からの3年間で「1618中期経営計画」を進めてきました。「お客様からの信頼No.1」、「グローバルで車の軽量化に役立つ」、「人材育成」、それぞれ活動を推進し一定の成果を生むことができました。しかし、収益面では減益となりました。特にアメリカ工場の生産性改善において、2021年度からの売上増加に向けた更なる基盤の整備を進めております。

当社の10年ビジョン「信頼を究めよう 2025」に向けて2016年度から2018年度で「1618中期経営計画」

を推進してきました。

「お客様からの信頼No.1」に向けた活動では、ダイカスト工場の品質クレーム総件数を2015年度比56%減少することができました。その結果いくつかの主要なお客様より品質関連の表彰を受賞することができ、信頼の向上につながっております。

「グローバルで車の軽量化に役立つ」活動では、2021年度の売上増加に向けた営業活動を積極的に展開した結果、エンジン・トランスミッション部品に加え電動化部品の受注を獲得することができました。世界経済の先行き不透明感はあるものの、2021年度は2018年度比1割以上の売上増加を見込んでおります。

「人材育成」においては、全工場における教育・訓練の水準を向上・統一するために教育体系や教科書の見

直しを完了し、グローバルで同一水準の教育・訓練の実行に移行しております。また現場管理監督者教育を国内外統一水準で行い、多くの修了者を生み出しました。

しかし、収益面では製品価格の値引きや人件費・燃料費などの上昇により減益となりました。特にアメリカ工場の生産性改善には時間を要し、2019年度から2020年度にかけて売上の減少も見込まれるため、最終年度の2018年度に減損損失を計上いたしました。株主の皆様にはご心配、ご迷惑をお掛けし申し訳ありません。アメリカ工場における改善活動は、品質クレームも2015年度比70%減少し生産の安定化、生産性向上などにも成果が出ております。2021年度からの新規製品受注による売上増加に向けて、更に基盤の整備を進めております。

#### Q2 次の3カ年の中期経営計画に関して お聞かせください。

「1921中期経営計画」では、電動化部品の受注活動と共に自動車の構造部材の開発・受注活動強化、品質面でのお客様からの信頼向上、稼ぐ体質の強化、これらを推進するひとづくりを進めてまいります。

2019年から新たに始まった「1921中期経営計画」は、急速に進む電動化、海外同業者との競争激化といった事業環境への対応を見据え「1618中期経営計画」の振り返りを行い策定いたしました。

HVやPHVの拡大が進む中、電動化部品の需要が世界的に増加しております。これらの受注活動と共に自動車の構造部材の開発・受注活動を強化してまいります。品質面では更に品質システムの強化と技術力の向上を進め、お客様からの信頼を向上させてまいります。特

に稼ぐ体質を強化すべく原価低減にこだわりをもって生産性の向上、リーンな生産体制の構築を進めてまいります。これらを推進するひとづくりでは、働きやすい環境づくりと個々人のスキル強化に向けた教育・訓練を継続いたします。

#### Q3 当社の持続的な成長のためにどのような 活動を行っているのかお聞かせください。

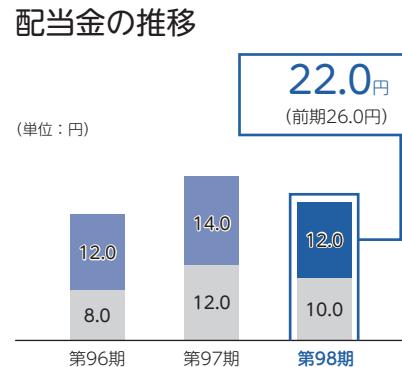
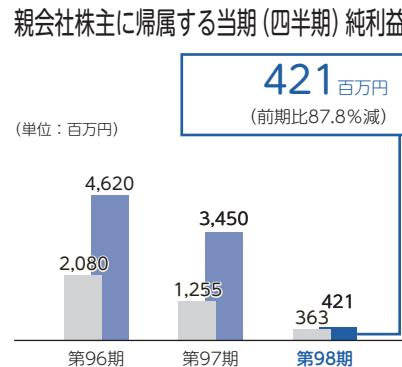
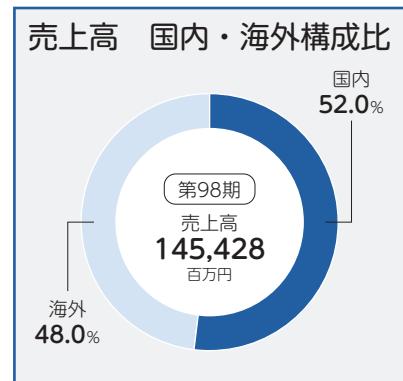
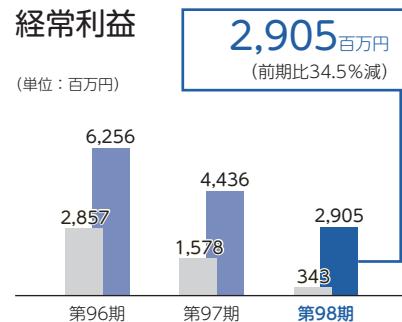
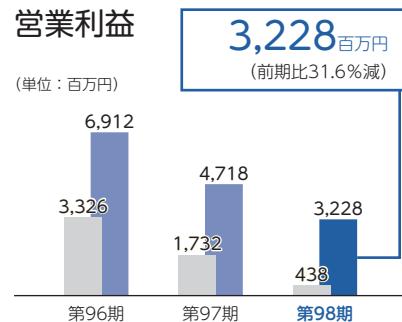
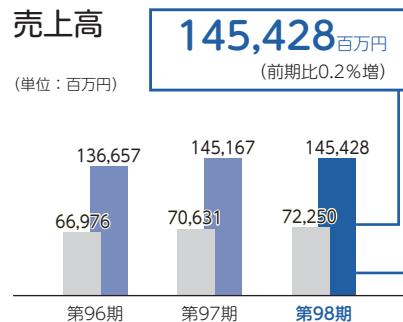
現場を中心とした作業環境改善活動、働き方の多様化等に対応する諸施策、組織ガバナンスの充実、グローバルでの情報発信と共有、協働による連携強化等を通じ、アーレスティグループの一人ひとりが共に生きいきと活動できる環境づくりを進めております。

当社の経営基本方針では、一人ひとりが生きいきと活動できる環境を構築していくことを基盤としております。そのために、現場を中心とした作業環境改善活動を「1921中期経営計画」においても推進いたします。また、働き方の多様化に対応する新たな人事制度の導入、フレキシブルな勤務形態の拡充、残業など時間外勤務の管理厳格化、ダイバーシティへの取り組み、従業員満足度向上にむけた諸施策を進めております。組織ガバナンスでは、指名報酬委員会の設置、株式報酬制度の導入などを進めました。更に6か国に広がる生産拠点に対して多言語での情報の発信や同一機能部署間の改善活動を通じた連携強化、現場改善事例の共有やグローバルQCサークル大会での交流など、アーレスティグループの一人ひとりが共に生きいきと活動できる環境づくりを進めております。

皆様のご理解、ご支援を引き続きお願いいたします。

# 期末決算ハイライト

## 連結決算ハイライト



## 期末決算のポイント

売上高1,454億円(前期比0.2%増)、営業利益32億円(前期比31.6%減)  
**【売上動向】**  
 アジア以外のセグメントでは受注量が減少となる中、地金市況の上昇等により前年並みの売上水準となりました。  
**【利益動向】**  
 連結では、製品価格の値引きや人件費、燃料費の上昇や第2四半期での一過性の減価償却費の増加等により減益となりました。また、アメリカ工場では改善が進んでいるものの、収益への寄与には時間を要しています。今後の売上減少も見込まれるため、減損損失を計上した結果、当期純利益は4.2億円となりました。

## 主要連結財務データ

	第95期 2016年3月	第96期 2017年3月	第97期 2018年3月	第98期 2019年3月
売上高	[百万円]	144,451	136,657	145,167
営業利益	[百万円]	5,385	6,912	4,718
経常利益	[百万円]	4,077	6,256	4,436
親会社株主に帰属する当期純利益	[百万円]	1,963	4,620	3,450
1株当たり当期純利益	[円]	75.97	178.77	133.40
総資産	[百万円]	139,496	135,044	137,751
純資産	[百万円]	59,262	62,053	65,439
1株当たり純資産	[円]	2,287.83	2,394.58	2,522.55
年間配当	[円]	14.0	20.0	26.0

(参考) EBITDA 2018年3月期 19,617百万円、2019年3月期 19,239百万円 (※) EBITDA=営業利益+減価償却費  
 (注) 2019年3月期の期首より、「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等を適用したため、2018年3月期については、遡及適用後の数値を記載しております。

## 来期の見通し

### 【売上】 連結売上高予想 1,340億円

- 自動車市場の鈍化による受注減少とアルミ地金市況の下落の影響等により、ダイカスト事業の売上は減少の計画としています。
- 完成品事業においては、受注状況から売上は減少の計画としています。
- 為替レートは、107.0円/米ドル、16.0円/元、1.50円/インドルピー、19.0メキシコペソ/米ドルとしております。

※会計基準の改定によるマイナス影響として約13億円を見込んでいます。

### 【利益】 連結営業利益予想 27億円

- 各工場における生産性改善活動による製造コストの削減を行っていきませんが、販売量減や製品価格の値引きにより、連結では減益を見込んでいます。

## (ご参考) 中期経営方針

### 10年ビジョン

**信頼を究めよう 2025**

**ありがたい姿**

- お客様からの信頼No.1
- グローバルで車の軽量化に役立つ
- 売上高2000億円+α

### 1921中期経営計画

将来の自動車事業 市場を見据えた戦略

生産性向上、稼ぐ力 品質向上によるのアップ

企業の成長を支えるひとづくり

### 1618中期経営計画

大型高難易度製品の顧客評価No.1を実現する

ものづくりを究める

生きいきと活動する会社を築く

収益力を高める

リスク管理を徹底する

## 当社IRサイトで決算説明資料を掲載しています

機関投資家向けに開示している決算説明資料、参考資料などを掲載しております。本冊子と併せてご参照ください。



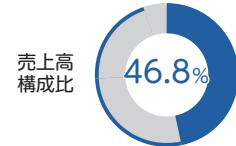
もしくは右記QRコードよりご確認ください。



# 事業別の概況

## ダイカスト事業

### 日本

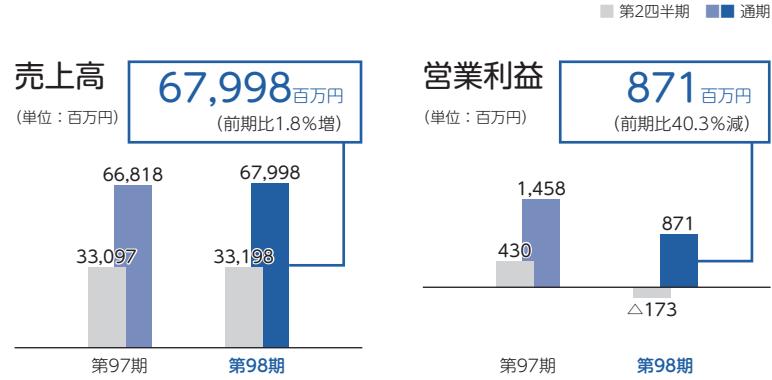


#### 売上高

- ・第4四半期における一部取引先の生産調整の影響等により受注量が減少
- ・アルミ地金市況の上昇、金型売上等により売上高は増加

#### 営業利益

- ・燃料費の上昇や減価償却費の増加等を受け減益
- ・一部製品の生産調整による受注減も影響



### 北米

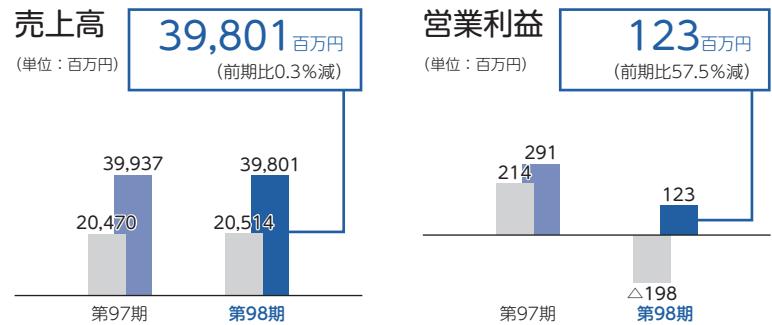


#### 売上高

- ・メキシコでは、新規部品の量産が本格化したものの北米市場の影響を受け受注量が減少
- ・米国は前年並みの受注量を確保

#### 営業利益

- ・メキシコでの受注量減少の影響はあるものの、一部を付加価値の大きい製品受注によりカバー
- ・第2四半期の減価償却増により減益



### アジア

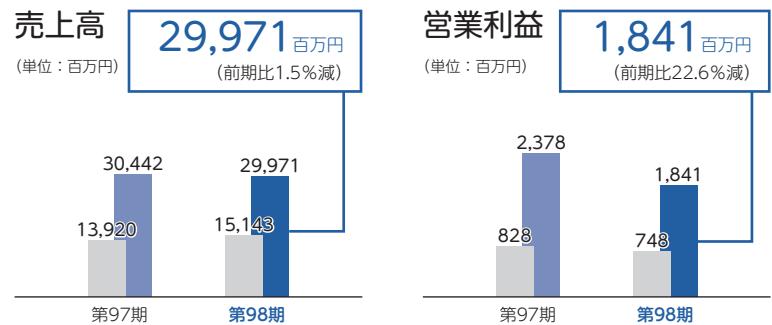


#### 売上高

- ・中国市場の減速により下期の受注量は減少
- ・インドは新規部品の量産本格化等により受注量が増加
- ・為替変動や製品ミックスの影響も受けて売上高減

#### 営業利益

- ・値引きや製造コスト増等により減益



## ダイカスト事業

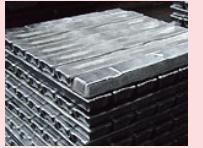
80年にわたるたゆまぬ研究開発で育んできた高い技術により、自動車のエンジン、トランスミッション、電動化部品など様々なダイカスト製品を製造しています。また、ダイカスト生産用周辺機器の製造・販売も手掛けています。



ダイカスト製品の特徴は、生産性の高さと寸法精度に優れており鑄肌が美しいことです。その特徴を活かし、複雑な形状で大量生産が必要な自動車部品などに多く用いられています。

## アルミニウム事業

缶、サッシ、自動車スクラップなど多様な原料をもとに、厳しい管理のもと、品質の優れたアルミニウム合金地金を製造・販売しています。



## 完成品事業

フリーアクセスフロア（配線・配管を床下に収める2重床システム）のアルミニウムダイカスト製フロアパネルを製造・販売しています。



(自社製品名「モバフロア」)

## アルミニウム事業

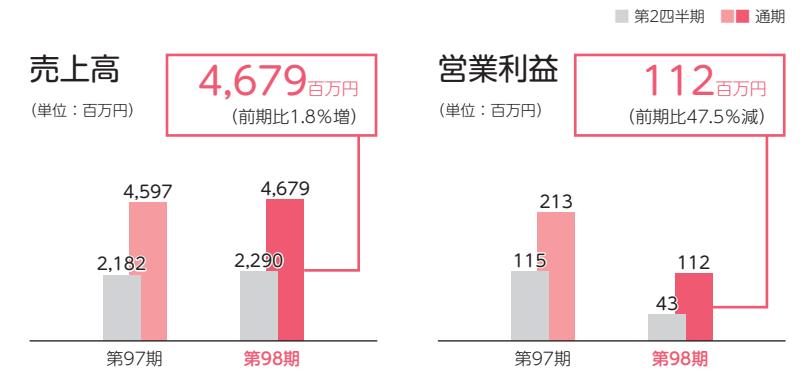


#### 売上高

- ・販売量減もアルミ地金市況変動の影響により前期比で増収

#### 営業利益

- ・地金市況上昇による原材料価格の影響等により減益



## 完成品事業

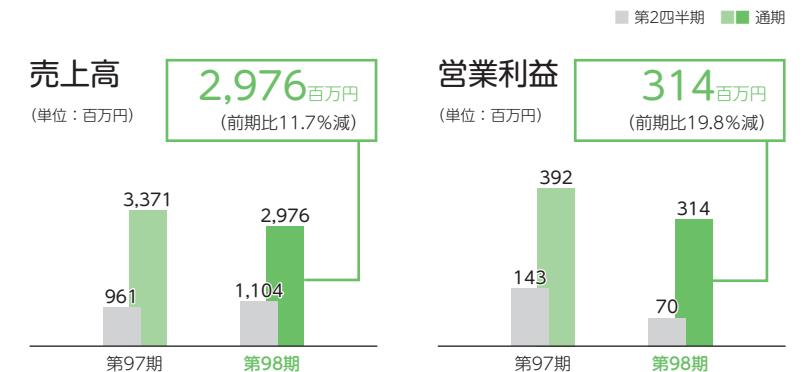


#### 売上高

- ・クリーンルーム物件等の受注が前期を下回り減収とはなるが、計画以上の売上を確保

#### 営業利益

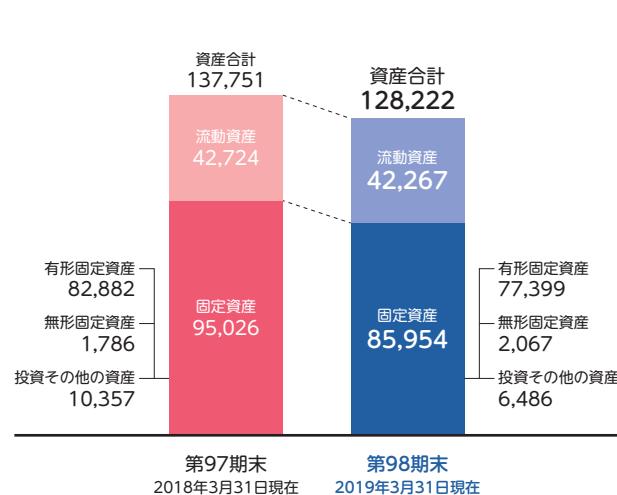
- ・減益とはなったが、計画を上回る受注確保により減益幅を縮小



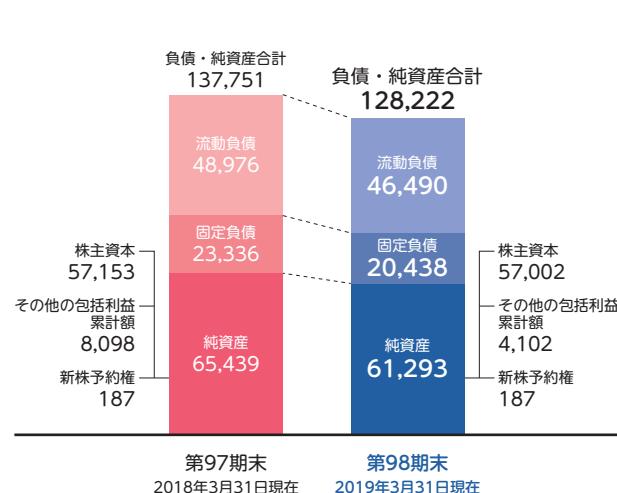
# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の概要

資産の部 (単位: 百万円)



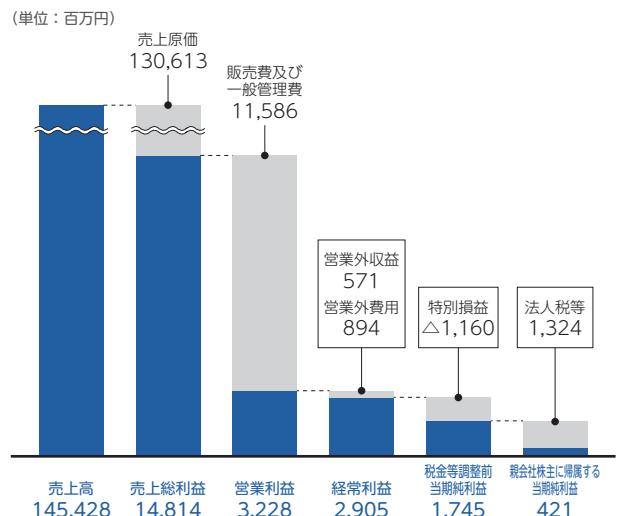
負債・純資産の部 (単位: 百万円)



(注) 2019年3月期の期首より、『税効果会計に係る会計基準』の一部改正等を適用したため、2018年3月期については、遡及適用後の数値を記載しております。

## 連結損益計算書の概要

第98期 2018年4月1日から2019年3月31日まで



## 連結キャッシュ・フロー計算書の概要

第98期 2018年4月1日から2019年3月31日まで

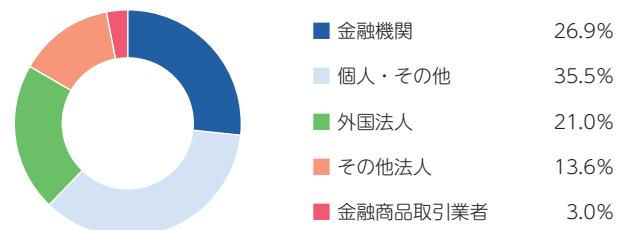


# 株式の状況

株式数及び株主数 (2019年3月31日現在)

発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	26,076,717株
株主数	5,971名

## 所有者別株式分布状況



## 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 Tel 0120-232-711 (平日9:00-17:00) 郵送先: 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行う 公告掲載URL <a href="https://www.ahresty.co.jp">https://www.ahresty.co.jp</a> (ただし、電子公告によることができない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

## お知らせ

- 株主様の住所変更、配当金の振込みのご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

大株主（上位10名） (2019年3月31日現在)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行(株) (信託口)	1,329	5.1
日本トラスティ・サービス信託銀行(株) (信託口)	1,296	5.0
高橋新	931	3.5
RBC ISB S/A DUB NON RESIDENT/TREATY RATE UCITS-CLIENTS ACCOUNT (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	805	3.1
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/ACCT BP2SDUBLIN CLIENTS-AIFM (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	802	3.0
日本軽金属(株)	657	2.5
アーレスティ取引先持株会	632	2.4
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO (常任代理人 シティバンク、エヌ・エイ東京支店)	628	2.4
INTERACTIVE BROKERS LLC (常任代理人 インラタクティブ・ブローカー証券(株))	623	2.4
スズキ(株)	565	2.1

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
2. 持株比率は自己株式(162,347株)を控除して計算しております。

## ホームページのご案内

当社ホームページ「株主・投資家情報」では、株主の皆様へ最新情報をお届けしております。併せてご覧ください。



トップページ

「株主・投資家情報」ページ

<https://www.ahresty.co.jp>

### アーレスティンディア、経済産業省より日本式ものづくり学校に認定

日本・インドの両政府が推進するものづくり技能移転推進プログラムに参画し、2018年7月、アーレスティンディアに日本式ものづくり学校「アーレスティJIM」を開校。第一期生として43名が入校しました。スズキ(株)、トヨタ自動車(株)、ダイキン工業(株)、ヤマハ発動機(株)、日立建機(株)に続く第6号の認定です。1年間のプログラムで一般教養等の座学、語学(英語)に加え、実技では鋳造・加工・金型・設備・品質管理・鋳造技術・生産管理・新規推進など、各工程の実習により日本式ものづくりを学び、日系企業の製造現場で中核を担える人材の育成をめざします。



第一期アーレスティJIM

【日本式ものづくり学校  
(JIM: Japan-India Institute for Manufacturing)】

インドの製造業の発展に向けた人材育成を目的に、経済産業省とインド技能開発・起業省(MSDE)によって2016年11月に合意された「ものづくり技能移転推進プログラム」の一環

### アーレスティプリテック豊橋工場を増築

2019年4月、アーレスティプリテック豊橋工場の増築工事に着工しました。アーレスティプリテックは、アーレスティグループダイカスト製品の機械加工を担うマザー工場です。アーレスティプリテック豊橋工場では、アーレスティグループの基幹工場である東海工場の機械加工を担っています。今回の増築で、従来のエンジン部品の受注増加に加え電動系部品の新規受注に対応、マシニングセンタ等加工機を増設し生産体制を強化します。竣工は2019年9月末を予定しています。



※増築部分、赤枠表示

【増築計画概要】

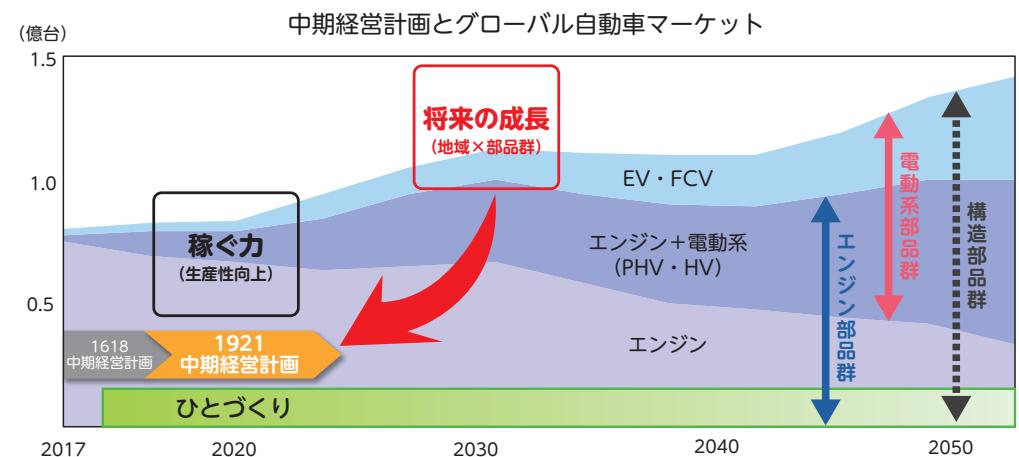
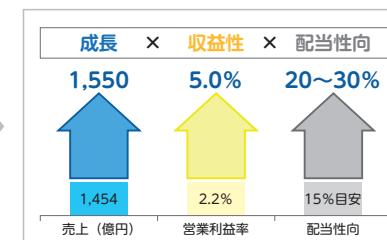
工場面積 : 建屋 11,031㎡ (2019年3月現在)  
 増築(面積) : 豊橋工場 第四加工工場 新築 (4,400㎡)  
 着工 : 2019年4月3日  
 竣工 : 2019年9月末(予定)  
 増設 : マシニングセンタ 35台他

### 「1921中期経営計画」始動

2019年度より、「1921中期経営計画」がスタートしました。100年に一度の変革期といわれる自動車業界において、お客様からの信頼を究め社会に貢献し、持続的に成長するためには、将来の自動車市場を見据えた事業戦略、高いレベルの品質・生産性による稼ぐ力のアップ、アーレスティの成長を支えるひとづくりの3つが経営の重要課題だと捉えています。この3つを「1921中期経営計画」の柱として、グループの総力を結集しスピード感をもって取り組み、株主の皆様への適正な利益還元につなげていきます。

#### 1921 中期経営計画の基本方針

- 将来の自動車市場を見据えた事業戦略
- 生産性向上、品質向上による稼ぐ力のアップ
- 企業の成長を支えるひとづくり



(IEA [ETP (Energy Technology Perspectives) 2017] に基づき作成)



## Corporate Information

### 会社概要

(2019年3月31日現在)

商号	株式会社 アーレステイ	
設立	1943年11月2日	
資本金	6,964百万円	
従業員数 (単独)	946名	
企業集団の従業員の状況	従業員数	
	ダイカスト事業日本	2,220名
	ダイカスト事業北米	2,689名
	ダイカスト事業アジア	2,261名
	アルミニウム事業	54名
	完成品事業	28名
	全社 (共通)	85名
	計	7,337名

### 取締役

(2019年6月19日現在)

代表取締役社長	高橋 新
代表取締役	伊藤 純二
代表取締役	高橋 新一
取締役	金田 尚之
取締役	蒲生 新市
取締役	野中 賢一
取締役 (監査等委員)	石丸 博
社外取締役 (監査等委員)	志藤 昭彦
社外取締役 (監査等委員)	塩澤 修平
社外取締役 (監査等委員)	早乙女 雅人
社外取締役 (監査等委員)	森 明吉



見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

Cover Photo : 本社・テクニカルセンター外観